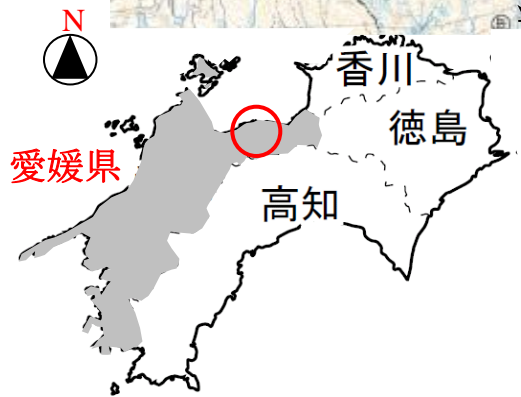
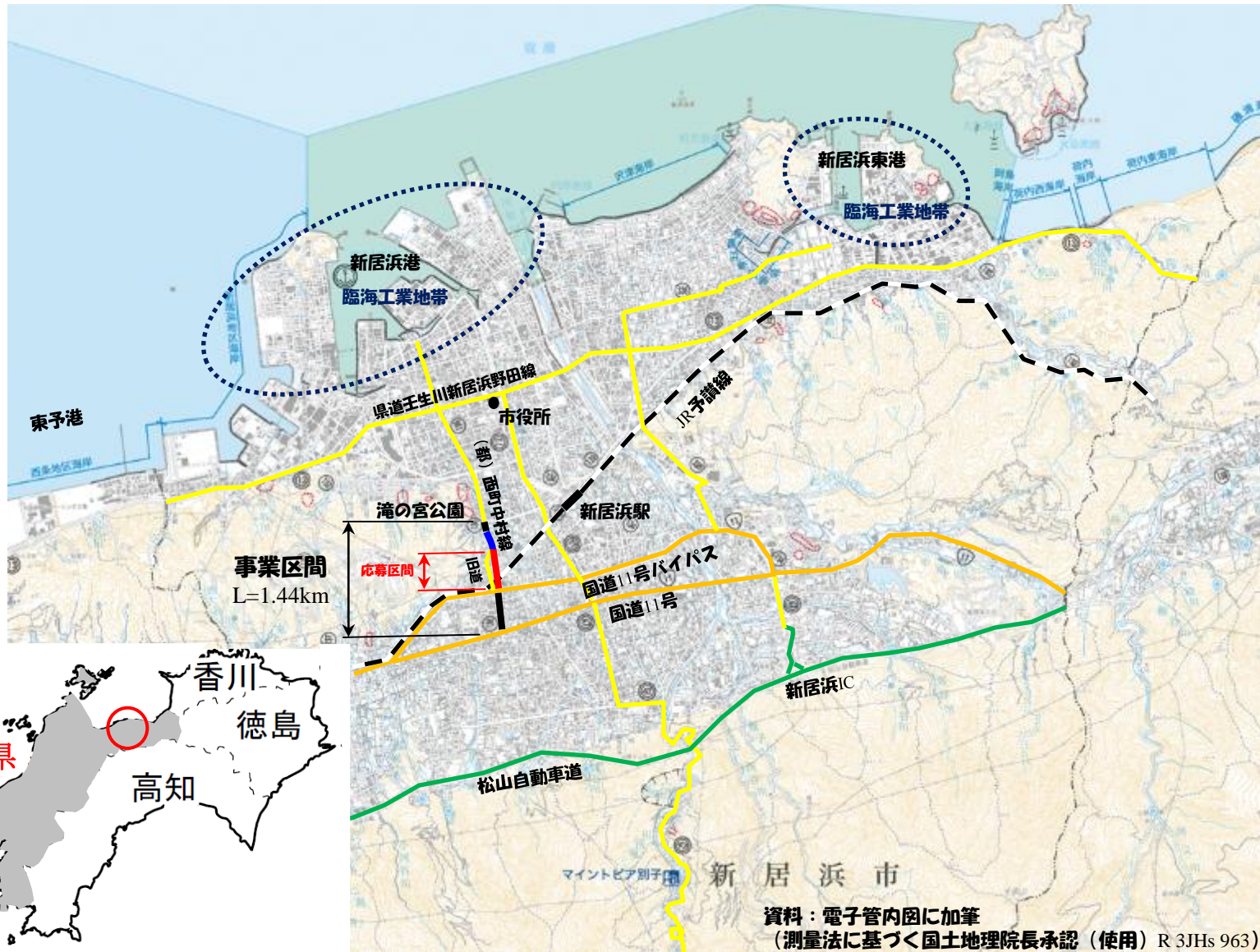


事業概要

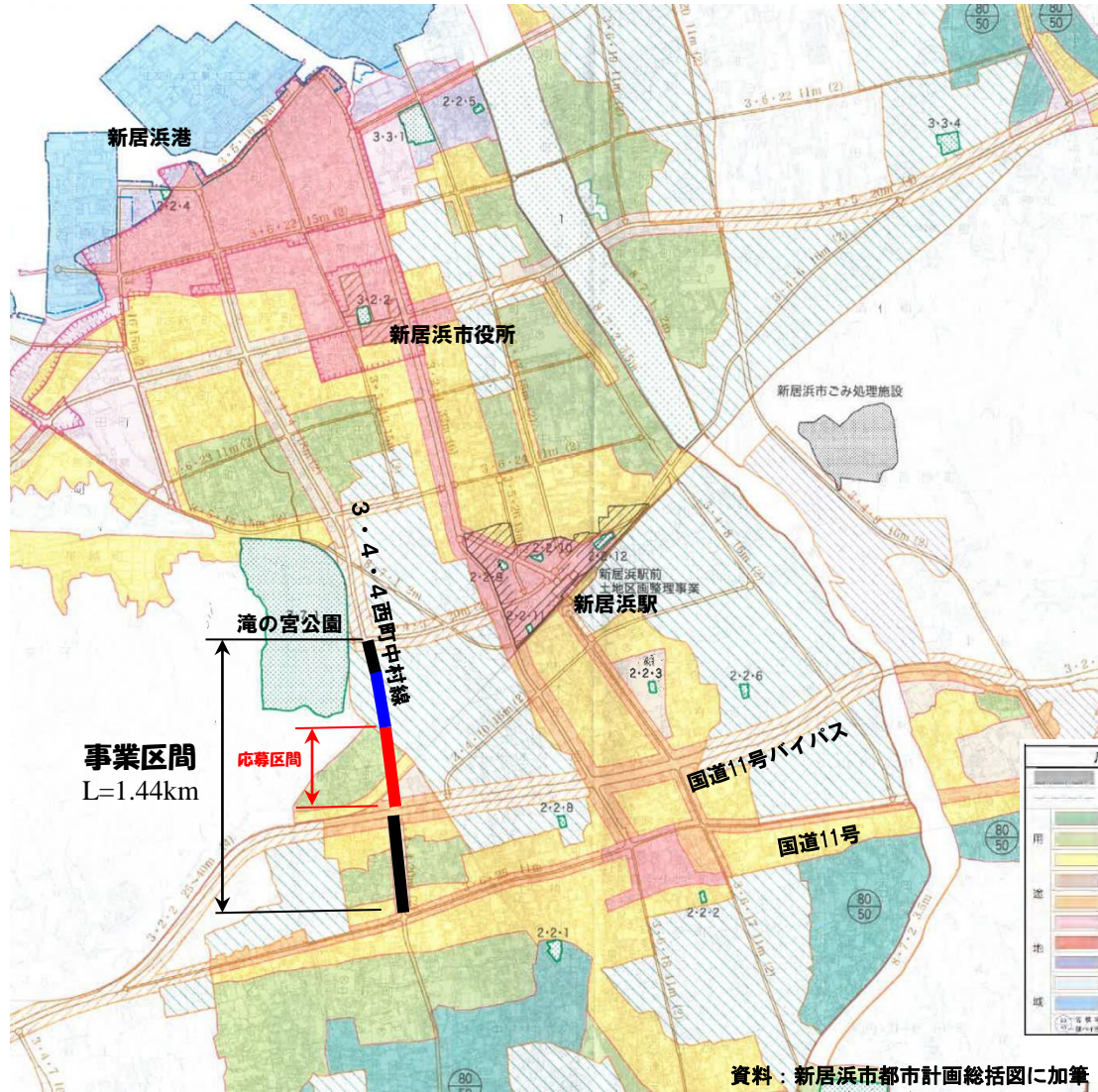
応募No.	17		
事業主体	愛媛県	事業箇所	愛媛県新居浜市政枝3丁目～本郷1丁目地先
応募者名	愛媛県東予地方局建設部道路課		
ふりがな 事業名称	としけいかくどうろ にしまちなかむらせんせいびじぎょう 都市計画道路 西町中村線整備事業		
事業概要 (400字以内)	<p>(都)西町中村線は、新居浜市南部を東西に走る松山自動車道・国道11号と北部に位置する新居浜港・臨海工業地帯とを南北に連絡する補助幹線道路であり、新居浜市南部から港湾へのアクセス道路として物流を支える重要な都市計画道路である。</p> <p>本事業は、JR予讃線の踏切で発生していた慢性的な渋滞の解消と自転車・歩行者の安全確保を目的に、鉄道との立体交差を含めバイパスにより道路整備を行ったものである。</p> <p>本事業により、国道11号バイパスを含め新たな道路ネットワークが形成、慢性的な渋滞解消のほか、道路交通の円滑化や地域の防災性・安全性の向上が図られた。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.5km	
	幅員(m)	約20.0m	
	事業期間(和暦)	平成18年～令和6年	
	事業費(億円)	約49億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	https://www.pref.ehime.jp/page/1959.html		

事業位置図



資料：電子管内図に加筆
(測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 3JHs 963)

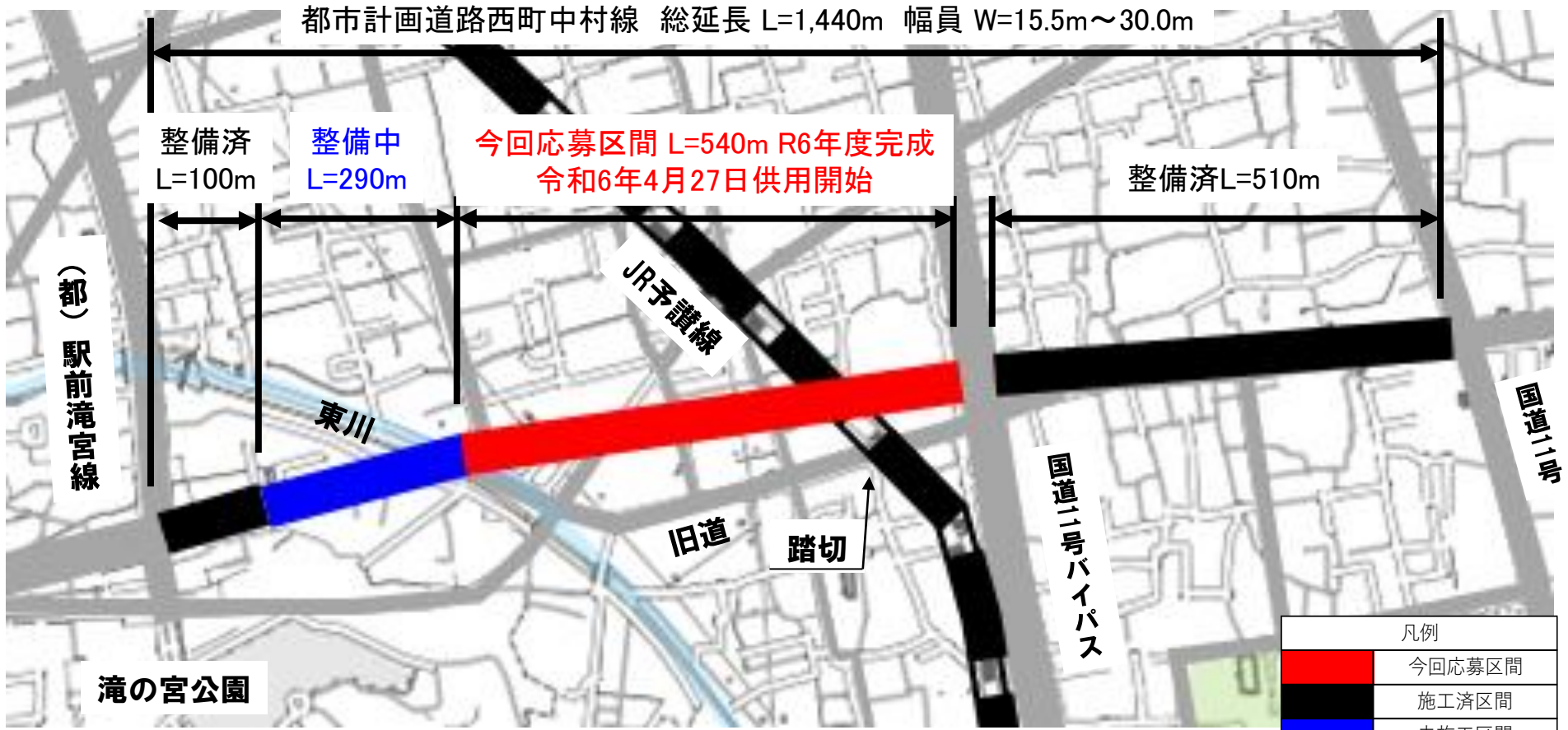
都市計画図(用途地域図)



凡 例		凡 例	
都市計画区域	行政区域	市街地周辺地区	特定用途制限地域
第一種低層住居専用地域	第一種住居地域	幹線道路沿道地区	田園住居地区
第二種低層住居専用地域	第二種住居地域	準住居地域	準工業地域
準工業地域	工業地域	工業専用地域	形 様 規 則
近隣商業地域	商業地域	準防火地域	防火地域
臨海工業地域	工業専用地域	臨港地区	都市計画道路
工業専用地域	工業専用地域	都市計画公園	都市計画緑地
工業専用地域	工業専用地域	一団地の公共施設	その他の施設
工業専用地域	工業専用地域	土地地区画整理事業	

資料：新居浜市都市計画総括図に加筆

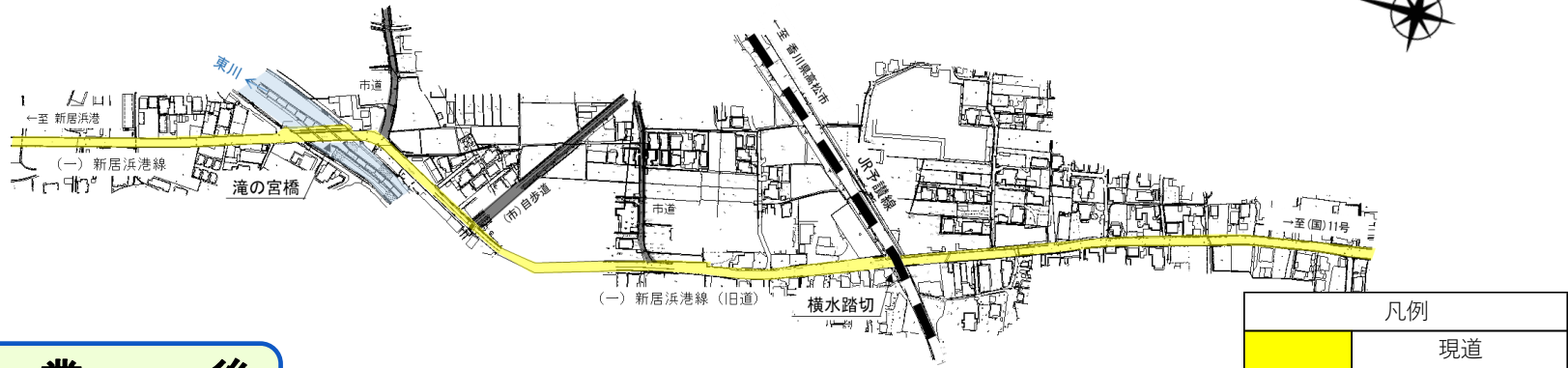
路線全体の進捗状況



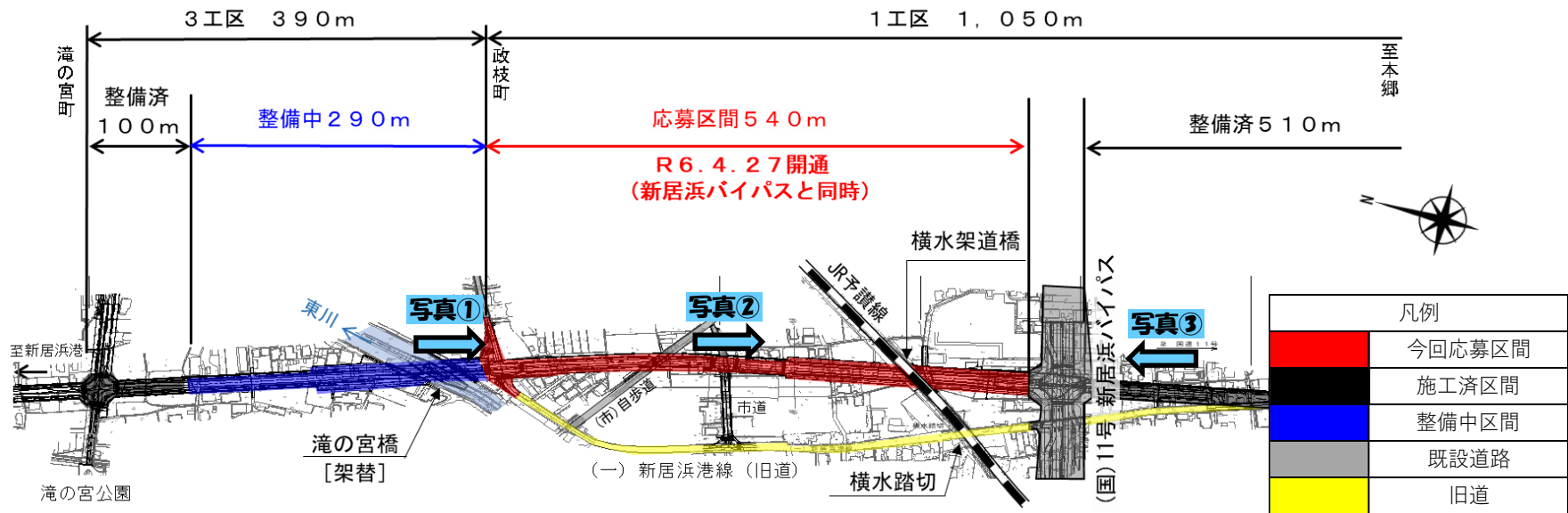
凡例	
	今回応募区間
	施工済区間
	未施工区間
	既設道路

平面図

事業前

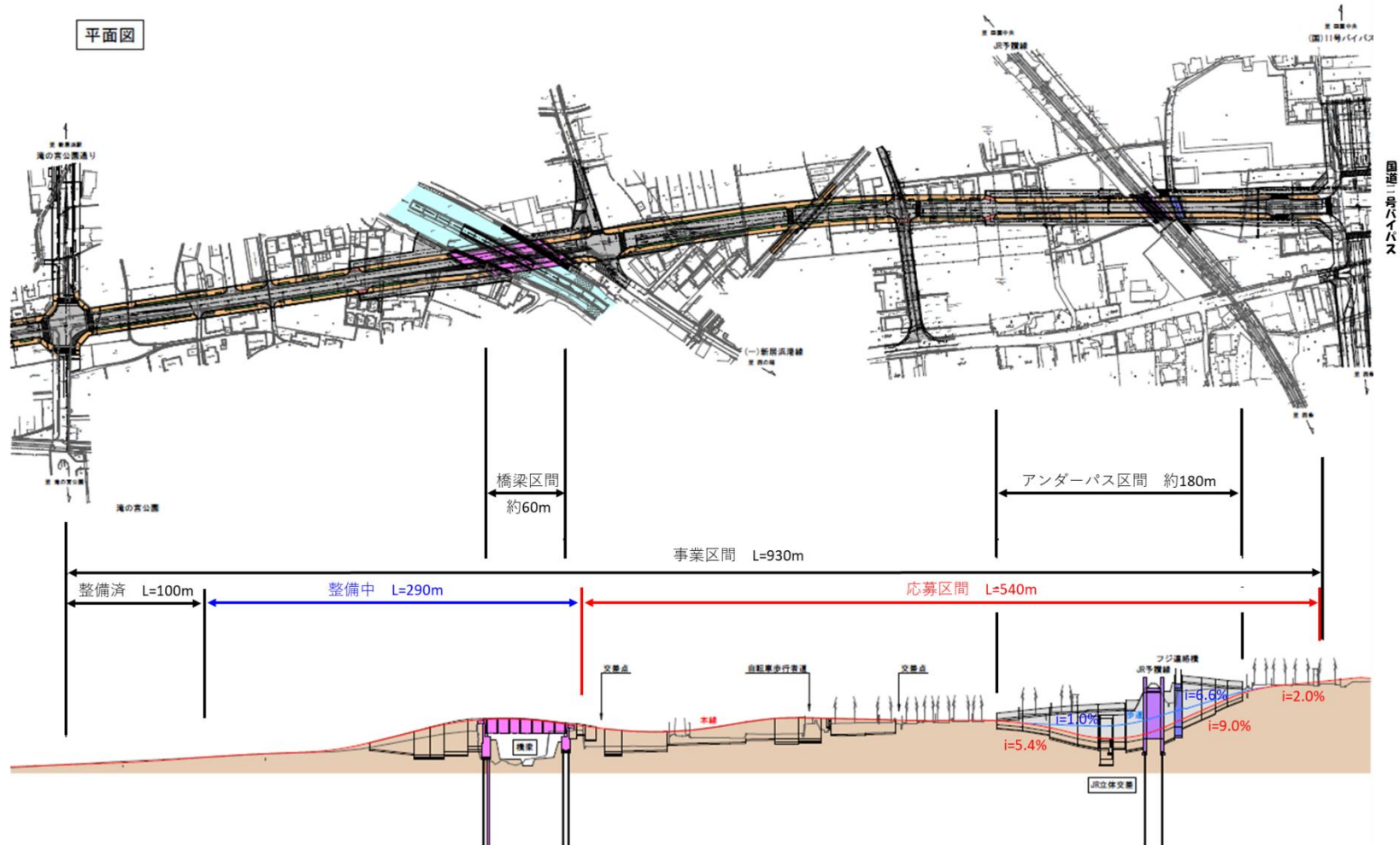


事業後



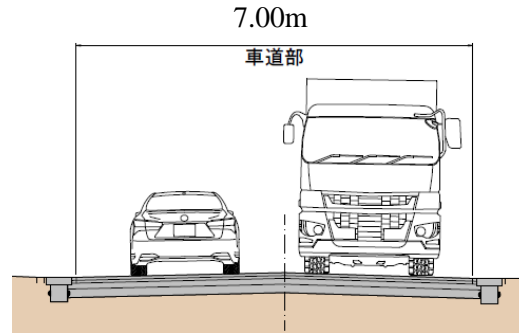
縦断図

事業後



横断図

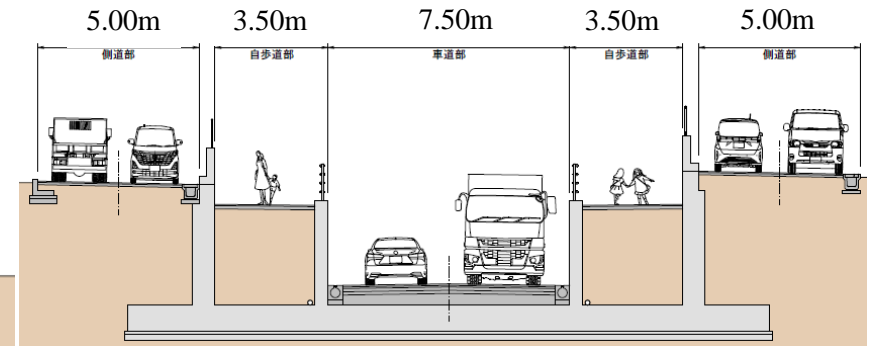
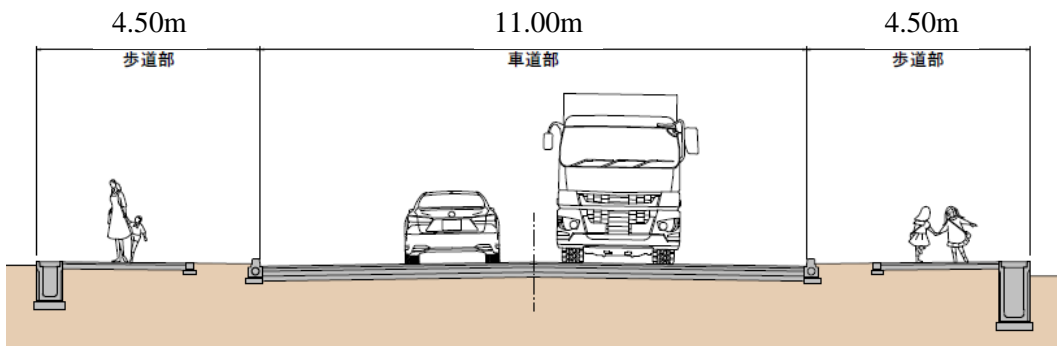
事業前



事業後

一般部

アンダーパス部



事業前写真

写真①



H24年8月撮影

写真②



R2年2月撮影

事業後写真

写真①



R6年12月撮影

写真②



R7年4月撮影

事業前写真



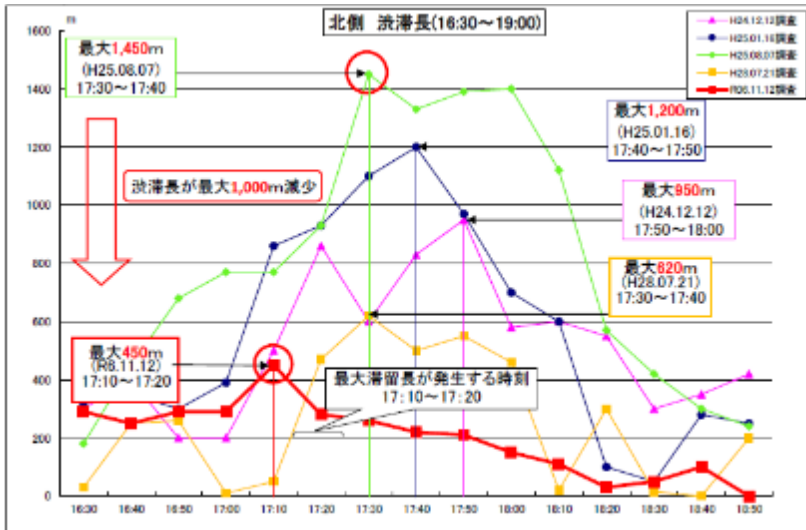
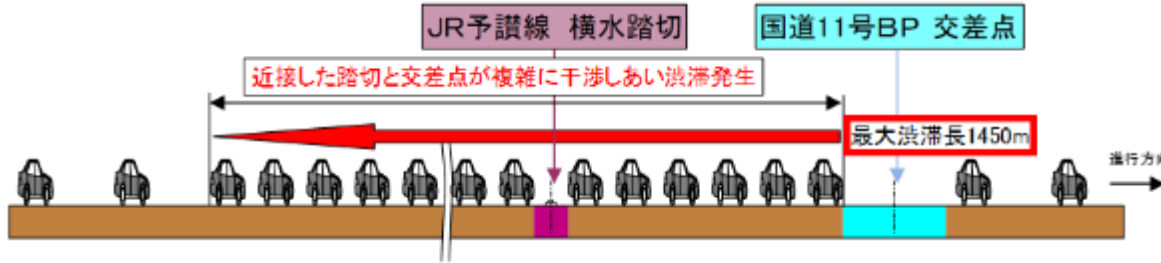
事業後写真



写真③

事業効果アピール資料

慢性的な渋滞の解消



バイパス開通前の最大渋滞長

平成25年 8月 7日調査 1,450m

バイパス開通後の最大渋滞長

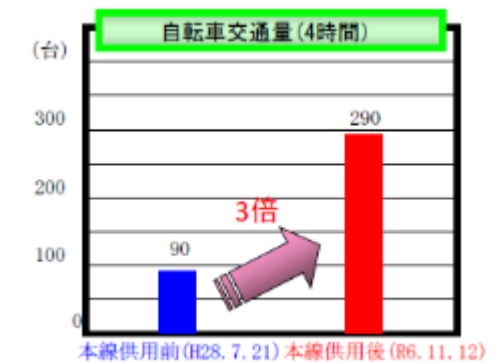
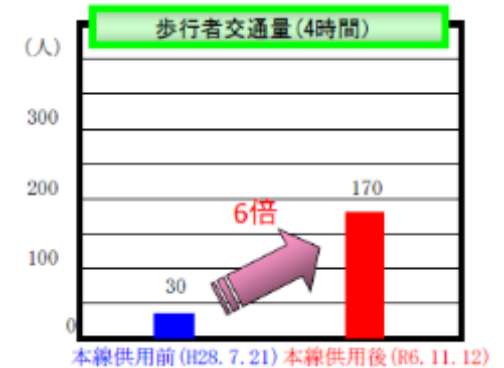
令和 6年11月12日調査 450m

渋滞長
最大1,000m
減少

JRアンダーパスの整備により、踏切での渋滞が解消されたことによって、飛躍的に渋滞長が短縮されており、本事業の整備効果が発揮されている。

事業効果アピール資料

歩行者・自転車の安全確保



バイパスに自転車歩行者道を整備したことにより、自転車及び歩行者（通学児童）の安全性が大幅に向上したことで、国道11号バイパス交差点で自転車交通量が3倍、歩行者交通量は6倍と大きく向上した。

事業効果アピール資料

南北方向のアクセス性の向上による物流の効率化



～製造品出荷額の更なる増加！～



定時制確保や物流コストの低減による地域経済の活性化及び南北主要道路における渋滞の負荷軽減、分散した市街地間の強化と円滑な連携が見込まれ、新居浜市のさらなる発展が予想される。

苦労や工夫等アピール資料

施工手順・施工方法の検討及び工程調整会議の開催



終点部は商業施設の駐車場を縦断する形での道路線形であったため、商業施設と施工内容が変わるたびに協議を行い、営業に支障が生じない施工手順で工事を実施した。



アンダーパス構造物と家屋までの最短距離が約1mと近接していたため、施工時には影響の少ない工法の採用や、変位観測等を行いながら、精度の高い工事を実施した。

本区間はアンダーパス部に冠水表示板やポンプ施設等の施設整備、市の上水道工事・下水道工事等も並行して工事を実施していたことから、最大で10社の施工業者が入り乱れて施工する状況となったが、月1回の工程調整会議を実施することで、供用に向けた施工日程の調整を行い、無事に国道11号バイパスの供用に合わせて工事を完了することができた。

苦労や工夫等アピール資料

イベント等の開催による土木事業への理解

- ・ 土木の日現場見学会の開催
（令和4年11月18日）
地元小学生 50人が参加



- ・ 新居浜市主催による
開通前イベントの開催
（令和6年4月21日）445人が参加



受賞歴・報道資料

- 新聞掲載：令和6年4月30日（火）
愛媛新聞「国道11号新居浜バイパス 西喜光地一本郷が開通」